

専門基礎分野 授業計画

| | | | |
|---|--|--------------------------|---|
| 授業科目及び時間数 | 医療福祉論Ⅱ（制度活用の実際）1単位 15時間 | | |
| 開講時期 | 2年次 後期 | | |
| 担当教員 | 岩崎圭介 | 実務経験 | 有 |
| <p>科目のねらい・到達目標</p> <p>医療現場における社会福祉制度の活用方法の実際について学ぶ。 医療・看護と社会福祉の関連を学び、さまざまな職種間での連携の重要性を理解する。</p> | | | |
| 授業計画・内容・担当教員 | | | |
| 1回目 | <p>社会福祉援助とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・援助とは ・「生活（ライフ）」の三側面 ・社会福祉援助技術の分類 | 講義 | |
| 2回目 | <p>個別援助技術（ケースワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活援助の特徴 ・生活支援の展開過程 ・ナラティブ・アプローチ、その他のアプローチ方法 | 講義 | |
| 3回目 | <p>面接技法</p> <p>事例検討会、ケア会議、担当者会議の進め方</p> | グループワーク | |
| 4回目 | <p>集団援助技術（グループワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団の特性 ・集団援助の独自性 ・集団援助の展開過程 | <p>講義</p> <p>グループワーク</p> | |
| 5回目 | <p>間接援助技術と関連援助技術</p> <p>社会福祉援助の検討課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倫理のディレンマ ・エンパワメント、アドボカシー、セルフヘルプ・グループ | 講義 | |
| 6回目 | <p>連携の重要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療提供システムと変化 ・病診連携、官官連携、 ・医療ソーシャルワーカーとは | グループワーク | |
| 7回目 | <p>連携の場面とその方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職種間連携とは ・医療機関における連携 ・地域包括ケアシステム | グループワーク | |
| 8回目 | 筆記試験 | | |
| 評価方法 | 筆記試験（1時間） グループワークの内容等の総合評価 | | |
| 受講生に対するメッセージ | <p>医療福祉論Ⅰを復習して学びましょう。 事例を通して患者・利用者の課題を理解し解決方法や利用サービスを考察しましょう。 多職種連携の意義や方法を身につけましょう。</p> | | |
| テキスト | 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度③ 社会福祉 医学書院 | | |
| 参考書 | | | |